

歴史探訪

クラブ! 其の152

History Inquiry Club



文化財課 ☎23局3635
FAX 22局3811

人々に愛されて 糟谷磯丸

2014年は、伊良湖の歌人、糟谷磯丸の生誕250年の年です。一昨年には大規模な展覧会が催され、ますます彼の評価が上がってきています。

糟谷磯丸（1764～1848）は、江戸時代、現在の伊良湖町で漁師の家の長男として生まれました。「無筆の歌詠み」と呼ばれ、身分を越えて多くの人に愛されました。親孝行の磯丸は、母の病気が治るようと、近くの伊良湖神社に3年



▲糟谷磯丸の肖像画

じめ、南信州、静岡、遠くは京都、伊勢尾張、江戸なども旅をしています。そこには、石碑など多くの足跡が残り、磯丸がいかに人々に愛されていたのかが分かります。

磯丸は、一生のうち数万首の歌を作ったといわれています。庶民の願いや困りごとを歌った有名な「まじない歌」は、軸などにして飾ると、不思議とその願いがかなったといえます。

磯丸没後、彼を慕う人々は神様としてお祀りをしています。磯丸本人にとって、神様になるのは本意ではなかったかもしれませんが、むしろ人々の幸せ、好きな歌を詠めた人生に誇りを感じていたでしょう。広くたくさんの人に親しまれ、多くの作品を残した彼の人生を見て、諸国を巡り、布教活動をしなが

仏像を彫り続けた美濃出身の円空（1632～1695）を思い出しました。磯丸は宗教者ではありませんが、人々の幸せを願う多くの作品を制作し、現在でも数多くが残され、その思いまでが受け継がれている点では共通しています。それが意図的ではなく、純粹な気持ちから生まれたことは、磯丸の生まれ持った人柄なのでしょう。本当に不思議な人です。

彼の生誕250年を記念した事業のポスターには「村人の心を支え、笑顔を咲かせた漁夫歌人」と添えられています。磯丸の魅力を伝える、実に温かい言葉です。（増山）

今月の「表紙」

▼田原市観光PRグループ「La・花ノたみ」が誕生しました。元気で明るくて、常に目的意識を持った若い世代が活躍することは、田原市全体の活力にもつながります。田原市の花や産業、そして観光など、渾美半島の魅力を市内外に積極的にPRしてもらおうためにも、皆さんと力を合わせ、今以上に元気な田原市にしていきたいでしょう。（I）

【表紙の写真】(当地アイドル)花ノたみ